



にしごう

広報にしごう第199号
昭和62年7月1日

VOL.7

■人口のうごき 人口15,081人(-13) 男7,617人(-8) 女7,464人(-5) 世帯数3,677戸(±0) 6月1日現在()は対前月比

夏本番



おもな内容

- むし歯のない子に表彰状.....2
- 献血で守る尊い命.....3
- 国道289号線花いっぱい運動.....4
- 統計調査結果シリーズ.....5
- 「地域リーダー養成セミナー」に参加して.....6
- 水道まめらしき.....7
- おしらせ.....8

プール開きで、元気にはしゃぐ保育所の子供たち

「むし歯」のない子に

表彰状

保育所児・小中学生ら53人

食べたら磨く「歯は一種の食器」使った食器は洗わねば——

村は、今年から村内小中学校

を対象に虫歯対策事業に取り組みましたが、調査結果では小中学校・保育所（四才以上）で虫

歯の全くない子は全体のわずか二%でした。

第一回虫歯の

ない子の表彰式

は、六月三日（

水）、午前九時

から文化センタ

ーで行われ、村

長、白河歯科医

師会の鈴木明公

衆衛生委員のあ

いさつに続き、

小学生二十五、

中学生十六、保

育所十二計五十

三人が表彰され

ました。

受賞者全員に

県歯科医師会か

ら歯ブラシ、村から鉛筆、スケッチブック、白河農協から村内小学生全員に歯ブラシが贈られました。受賞者は次のとおりです。

▼西郷保育所 高田研太、辺見

香織、真船剛、佐藤明日香、高

田羽人、▼西郷第二保育所 鈴

木秀人、渡辺幸治、浅沼宏美、

石井千恵、渋谷大樹、▼川谷保

育所 金田敏夫、長倉志穂。

▼熊倉小 須藤健一郎、大友亜

希子、長倉伸介、湯浅奈緒、田

部井正人、児玉朋子、西川昌枝、

真船孝道、円谷陽子、稲吉裕介、

寺下恵美、桜庭秀之、蓬田宏、

▼米小 渡辺淳一、▼羽太小 五十嵐善徳、▼小田倉小 菊地

武史、鈴木哲也、三阪英之、鈴

木光徳、五十嵐清和、米谷舞、

鈴木博貴、田村貴子、須永和哉、

波多野和美、▼西一中 伊藤昌

弘、都筑誠、阿部千春、仁平み

ゆき、菅谷敏恵、小松誠、関谷

伸雄、鈴木茂樹、三村晋一、▼

西二中 田巻陽一、小野敬子、

クリーンふくしまに

川谷中と小田倉小



▲表彰を受ける小田倉小児童会長

訓練センターで行われました。今回の表彰式では、村から川谷中学校・嶋田文彦生徒会長と小田倉小学校・松本裕介児童会長が出席し、クリーンふくしま会員外としては、はじめて表彰されました。

先ず、川谷中は昭和五十五年以来、継続されてきた西の郷遊歩道や村営キャンプの清掃作業、どんぐりの森（少年自然の家）の育成活動が認められました。また、小田倉小は国道四号線の空カン拾いや看板設置等（クリーン作戦）が評価されました。

この二校の秀れた行事がきっかけとなり、村内小中学校による「秋の一斉清掃事業」が今秋から実施される見込みです。

清掃作業に携わる各種団体で構成され、民間の自主的クリーン思想を広め、毎年功績のあつた団体を協議会で表彰する「クリーンふくしま」の今年度の表彰式が六月三日（水）、白河職業

石川孝洋、高井秀敏、郡司知子、鈴木美有紀、▼川谷中 河合亮一、虫歯のない子は保護者及び周囲の人々の協力や本人の努力次第です。皆さんも自分の歯を大切にしましょう。



献血で守る 尊い命

●7月は「愛の血液助け合い運動」です●

夏になると水の使用量が増え、水不足になりがちなることはよく知られています。しかし、同じ夏に、輸血に必要な血液が不足しがちになることは、案外知られていないようです。

夏は、旅行や帰省をする人が増えるためでしょうか、献血する人が減るといわれています。それにも増して、夏の暑さが「献血をしよう」とする皆さんの善意を喪失させてしまうのかもしれない。

夏だからといって病人やけが人が減るわけではありません。

献血をして尊い命を助けたい——というあなたの善意を、血液が不足しがちな夏にも生かしてほしいものです。

ご存じですか 成分献血

血液中の必要な成分だけを採用する

成分献血——昨年四月から始まった新しい献血方法ですが、まだご存じない方も多いのではないのでしょうか。

成分献血には、血液中の液体成分である血漿のみを採用する「血漿成分献血」と、血小板だけを採取する「血小板成分献血」の二つがあります。これらの献血方法は、赤血球などの成分を献血者本人に返還しますので、



献血者にとっても負担の少ない方法といわれています。

血漿成分献血

血漿は、数多くのタンパク質を含み、主に栄養分や老廃物の運搬、免疫作用、血液を固まらせるなどの働きをします。

血漿成分献血により得られた血漿は、これらの役割ごとに製剤がつくられます。これを「血漿分画製剤」といいます。

血漿分画製剤は、血液をそのまま輸血するのに比べて、より少ない量で医療上大きな効果が得られます。しかも血友病などの特定の疾病にきわめて有効なため、現代医療に欠かせない医薬品となっています。

しかし、わが国の血漿分画製剤の使用量は大変多く、その大部分は輸入に頼っているのが現状です。

血小板成分献血

血小板は出血を止める働きをし、白血病などの治療に使用されます。血小板成分献血の導入により、一人の献血者から数人の血小板が一度に得られるようになりました。

国内で使う血液製剤を国内で確保するために、また、輸血を待つ患者さんのために、成分献血にぜひご協力ください。

税の知識

◎ 社会にいきる税

国や地方公共団体は、私たちが国民が豊かで安定した暮らしができるように、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、幅広い分野にわたって活動を行っています。

税金は、このように国が活動するための大切な財源であり、共同社会を維持するための会費といえます。

国の総支出(歳出)

五四兆一、〇一〇億円

税のゆくえ

—昭和62年度—

国債費	11兆3,335億円	20.9%
地方財政関係費	10兆1,841億円	18.8%
社会保障関係費	10兆 896億円	18.7%
公共事業関係費	6兆 824億円	11.2%
文教科学振興費	4兆8,497億円	9.0%
防衛関係費	3兆5,174億円	6.5%
その他	8兆 443億円	14.9%

故・内藤運信氏に 勲五等双光旭日章



今年二月三日に亡くなられた故・内藤運信氏(西郷村大字羽太字狸屋敷一六四番地)に、このほど勲五等双光旭日章が授与されました。

叙勲伝達式は五月十二日自宅で行われ、大橋県生活福祉部次長から子息・信光氏に手渡されました。

氏は宮城師範学校初等科訓導養成科卒業後、昭和二十一年、宗教法人大龍寺住職として勤務する傍ら、民生委員、西白河郡及び村社会福祉協議会長、保護司、村教育委員長などの要職を勤めるなど社会福祉の増進に寄与すると共に、教育関係の役割に携わるなど広範囲にわたり指導的役割を果たしました。

「花の道」に早変わり!

〜国道289号線花いっぱい運動〜



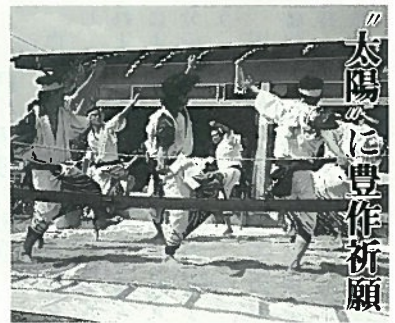
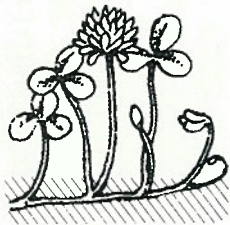
▲真心を込めて花を植える会員

ポットにマリゴールド、サルビア合計千百本を植え付けました。

又、甲子地区は欠入地内の「さつき」畑の除草等を中心に、マリゴールド等の植え付けを行いました。

同時に沿道の空きカン拾いも実施され、その量はトラック一台を越える分量となりました。この花いっぱい運動も伝統ある行事であると共に、今日では「こどぶき学級」の実践活動の場ともなっています。

「甲子高原を訪れる方に、心の安らぎを」——去る昭和三十八年から国道二八九号沿線において続けられている「甲子街道花いっぱい運動」は五月二十七日(水)、老人クラブ会員約二百名が参加して実施されました。作業は川谷と甲子地区に分かれ、川谷地区は、約八キロの沿線個所に設置されているフラワ



太陽への豊作祈願

県重要無形文化財の指定を受けている上羽天道念仏踊りは六月七日(日)、同公民館前で行われました。

午後二時、頭にハチマキをし、着物姿にたすきをかけた上羽太青年会十五人は、「上げ念仏」(歌い手)と「下げ念仏」(踊り手)となり、互いに掛け合い、全身で律動的に踊り豊作を祈願しました。踊りは集まった観衆の前で二回にわたり披露されました。

この天道念仏踊りは、産土神とご先祖さまに田植えが無事に終了したことを報告し、「今年も豊作でありますように」とお祈りし、毎年六月の第一週日曜日に披露されます。踊りが太陽に通じ、今年も豊作になると良いですね。

プラグのさし込みは

まっすぐしつかりと

さし込みプラグを、コンセントに中途半端にさし込むと、接触が不完全になって、プラグやコンセントなどが過熱して事故になるおそれがあります。

プラグは、必ずまっすぐにしつかりとさし込んで、使用する必要があります。

無事故・無違反を願い

村内を鼓笛パレード・熊倉小

村交通安全対策協議会(鈴木平作会長)では、昨年、六月六日(無(六))にちなんだ無事故・無違反の日と定め、交通安全パレードを実施しましたが本年も村内において行われました。

新白河駅高原口前での出発式では、熊倉小児童四年生以上の鼓笛隊二百二十二人、母の会、安全協会の関係者ら総勢約三百人が出席しました。

鈴木会長、北島校長、坂井教育長のあいさつに続き、鼓笛隊の見事な演奏に乗せて駅前から雇用促進住宅、熊倉地内及び折口原グラウンドより熊倉小まで

電気安全知識

さし込みプラグは
しつかりと
さし込みましょう



▲村長を先頭にパレード(文化センター前)

パレードを行い、村民に無事故・無違反を訴えました。また、国道二八九号線西郷駐在所前において、甲子や白河方面へ往来するドライバーに風船やチラシを配り、併せて無事故・無違反を呼びかけました。

学校は違っても……

熊倉小・養護学校交流会



▲歓迎の言葉をのべる養護学校の代表

文部省より心身障害児理解推進研究校の指定を受けている熊倉小と同協力校の県立養護学校（芝原）との第一回交流会活動対面式が六月八日（月）、養護学校で行われました。

この交流会は、小・中学校の児童生徒に、心身障害児に対する

正しい理解と認識を深めさせるため、盲学校、ろう学校及び養護学校の児童生徒との交流の在り方など、地域や学校の実態に即した具体的な主題を研究校が設定するというものです。

当日は、両校の児童生徒が初対面ということもあって養護学

校からの歓迎のことばや、歌の交歓などが行われました。また、養護学校で行われている朝のリズム運動・ドン・ドン体操では、熊倉小の児童も一諸になつて体を動かし、お互いにすっきり意気投合した様子でした。

なお、この交流会は今年から来年度までの二年間実施されます。

統計調査結果シリーズ ④ 商業統計調査より “一般飲食店”

昭和六十一年十月一日現在で村内の飲食店の数、従業者数等を調査しました。

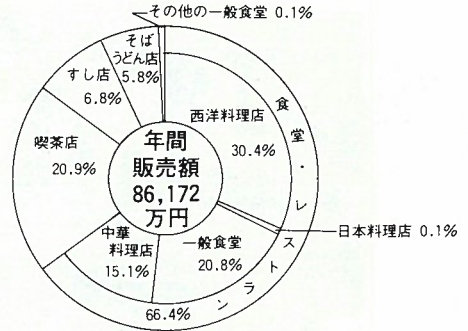
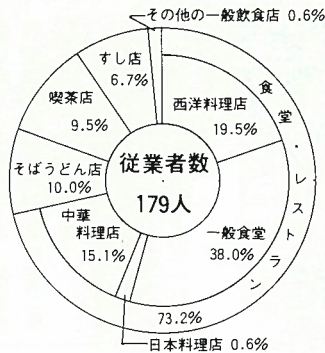
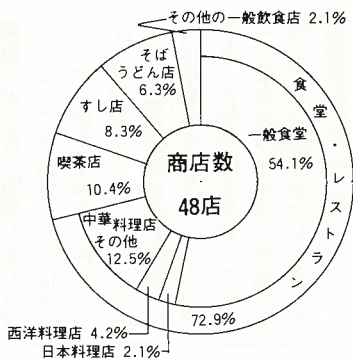
調査員の方、そして調査に該当された関係商店のご協力ありがとうございました。

この調査は、三年ごとに実施されており、調査結果を表と円グラフで見てください。

商店数、従業者数、年間販売額の増減率

	昭和57年	昭和61年	増減数	増減率
商店数	34 ^店	48 ^店	14 ^店	41.2%
従業者数	114 ^人	179 ^人	65 ^人	57.0%
年間販売額	75,662 ^{万円}	86,172 ^{万円}	10,510 ^{万円}	13.9%

商店数、従業者数、年間販売額の構成比



川柳

課題「緑」

愛一つ若葉の様にそつと抱き

かたつむり庭の緑に角を立て

ふる里は緑濃くして農栄え

野も山も緑カッコの声に酔う

開発の美名に緑倒される

課題「スタート」

人生のスタートラインの一年生

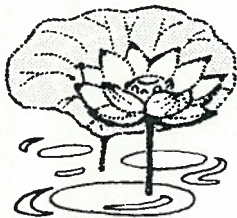
いい天気さあ開店の幕を明け

赤飯で祝う我が子の初船出

正雨

利子

忠義



「地域リーダー養成 セミナー」に参加して

県は、昨年からは県内各地で「ふるさと産業おこし運動」に積極的に取り組んでいる青年を対象に、地域における「ふるさと産業」振興の核となる人材を養成するため、「地域リーダー養成セミナー」を開催していますが、今年も飯館村で実施されました。村から、真名子でヤマメ・イワナの養殖、加工業を営んでいる鳩巢信裕さん(三十二才)が参加し、このほど次の様な感想文が寄せられました。



鳩巢 信裕さん

去る六月八、九の両日、相馬郡飯館村において、県主催「地域リーダー養成セミナー」が開催されました。私はこのセミナーに参加して、福島県の地域産業おこし運動の成功例の実際を肌で感じると共に、飯館村長の「飯館村地域産業おこしの現状と課題について」、また、「西川町ふるさとクーパーン」の発案者で有名な山形県西川町職員・井上美恵子さんの「にしかわ町のまちづくり

について、ふるさと産業おこし運動推進専門委員で福島大学経済学部助教授・守友裕一氏の「地域産業おこしにおけるリーダーの果たす役割について」、「各地域における産業おこしの進めかたについて」等の講演を聴いて、何故今、ふるさと産業おこし運動を行っているのか、どうしてそれが必要なことなのか、このセミナーに参加するまではハッキリとわかりませんでした。それは、当西郷村が豊かで便利な住み良い村であるからにほかならないからだ、つくづく思いました。飯館村においては、冷害や過疎等の問題に直面し、住民に共通の問題意識がある中で、住民が一丸となってその運動に取り組みやすく、また、そ

村を大いにPR

「87ふるさとの物産と うまいものまつり」

村のPRと特産品を大いに売り込もう——ふくしまふるさと産業おこし運動協賛「87ふるさとの物産とうまいものまつり」は五月二十日から六日間、郡山市・うすい百貨店で華やかに開催されました。

県内各地のうまいもの、伝統工芸品などを一堂に集め即売するこの催しには、県内五十一市町村、百七十一業者が出品しました。村の特産品として川仙食品(イワナ・ヤマメ)、松竹工芸社(コルク製品)、柳沢窯(れらを行わなければならない環境によるもの)がかなりあったのではないかと思われま

す。この運動の最終目的である「活力ある住み良い村づくり」の為、私も微力ながらイワナ・ヤマメなどの養殖、加工等を通して、出来る限り頑張っていました。イワナ・ヤマメの養殖等、及び、ふるさと産業おこし運動に興味のある方は是非一度当所へおいで下さい。心よりお待ちしております。



▲大人も子供も一語になってつかみどり

陶器)が出席、陳列しました。また、二十四日(日)には第一うすい屋上でお楽しみイベント・西郷村イワナ、ヤマメつかみどり大会が開かれました。午前十と午後のそれぞれ一回づつ行われ、合図と共に特設プールに入ったチビッ子らは、衣服の濡れるのも忘れ、苦心しながら魚を追いかけました。つかみどりされたイワナ等は村職員により調理され、用意された炭火で各自塩焼きにし、早速ほお張っていました。このつかみどり大会は、会場を訪れた人々に村の特産品や観光等を大いに売り込んだ一日となりました。

善意を
ありがとう

左記の方々から心暖まるご芳志をいただきましたので、ここにご紹介すると共に感謝申し上げます。

▼社会福祉協議会へ

- 和知利根(柏野) 一〇万円
- 小川テル様(白河市) 五千円
- 小針正三郎様(米) 五万円
- 渡辺勝弘様(下羽太) 一〇万円
- ▽防犯灯 六基

東北電力(株)白河営業所

- 所長 橋本 清
- ▽村教育委員会図書購入として 三十万円

福島相互銀行

- 取締役社長 唐木田 穰

おわび

第一九八号の二ページ、「新村議決まる」の二段目右から十一行目「四月二十日」は、「四月二十七日」の誤りでしたので、深くおわびしますと共に訂正させていただきます。

水道 まめちしき

① コップ三杯ですむ歯みがきも、出しっぱなしで使うと三分間でバケツ二杯分の水がむだになります。また、ポタリポタリの水も、一日でバケツ五杯になります。ジャージャー出すと十分間でバケツ二十杯になります。

② 白い水は、水道管の中に入った空気がかきまわされて小さな泡になり、水にまじったものです。そのままでも飲めますが、

③ 赤い水は、水道工事などで水道管の中に鉄サビが流れ出たためです。しばらく水を出しているときれいになりますので、それから飲んで下さい。

④ 水が臭うことがあります。これは消毒用の塩素のため、水道の水が安心して飲める証拠です。



きれいな水を
いつまでも

みんなの川

五月は阿武隈川の例年がない
五月は阿武隈川、各報道機関にも取り上げられたように、農業用水や飲料水の確保に支障を来しました。このように、濁水をはじめ、増水による氾濫や水質汚染による公害など、悪い状態にならないと「川」は話題として取り上げ

られにくいようですが、そうなった時は流域が広いことと生活に関連性が深いことから多大な影響を及ぼすこととなります。特に公害の場合は、増濁水などの被害に比べ因果関係がすぐには分からず、長期間の蓄積で発生することが多いため、イタイ病や水俣病のように、かなり被害が進んでしまうことがほとんどです。

水は私たち人間にとって不可欠のものですが、人間だけのものではありません。動物も植物も同じ恩恵を受けています。川を汚さないよう一人ひとりが注意して親しみの持てる川にするように心がけましょう。

（企画調整課）

あなたも

ねらわれている②

悪質な通信販売

通信販売とは、通常新聞、雑誌、テレビなどによる広告や、ダイレクトメール（家庭や客に直接郵送する広告）、チラシなどを見て、郵便、電話などで購入の申し込みを行うものです。通信販売は現物を見ないで、広告やカタログで物を注文するため、まず慎重に選ぶことが大切です。広告には、販売価格、送料負担の有無、代金の支払時期と方法、商品の引き渡し時期返品の可否、申込期限、販売業者名と住所などが明記されることになっています。

また、送金後一週間たっても商品が送られてこなかったり、

取引条件をよく読む！



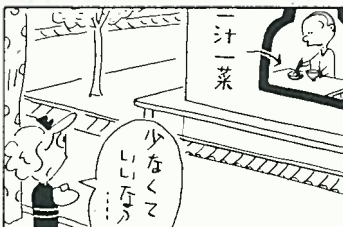
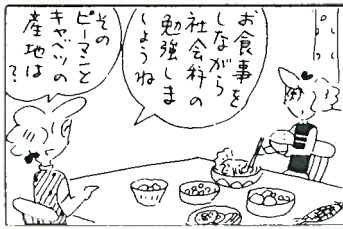
注文に対する諾否を書面で通知してこない場合は、注文の取り消しや返金請求ができません。皆さんも、通信販売について困った事、聞きたい事がありましたら左記にご相談下さい。

○福島県消費生活センター
☎（〇二四五）二一一〇九九九
及び、二一一一一（県庁）

○村役場商工観光課
☎二五一一一（内三四一）

さわやか 君

西村 宗



ご存知ですか 建設業関係の皆さん!!

建設業を営む方々、及び建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか。

この制度は、昭和39年に中小企業退職金共済法により作られた制度です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

退職金は、国の制度ですから、

确实、安全であり、極めて有利な利回りで計算されています。

現在、全国で12万の事業主、165万人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立が行われ、すでに40万人の労働者が退職金を受け取り、その額は782億円を超えています。

この制度について詳しいことは、下記にお問い合わせ下さい。

記

建退共福島支部

住所 福島市五月町4-25

福島県建設センター内

電話 ☎0245 (21) 0244~6

おしらせ



自衛官募集中

防衛庁では、ただ今、陸・海・空自衛官を募集しています。

健全な生活、充実した職場、最先端の技術修得…。そこにあなたの明るい将来があります。

若いあなたの入隊をお待ちしております。

募 集 要 項

***身 分**
特別職国家公務員

***応募資格**
18歳以上、25歳未満の日本国籍を有する男子

***初 任 給**
110,200円。(約10カ月後119,900円となり、その後は年1回昇給、衣・食・住は無料支給されます。)

海上自衛隊艦船乗組員には、本俸の3~4割程度の手当のほかに、

航海手当なども支給されます。

*賞 与

年3回 約4.9カ月分
(その他寒冷地手当など諸手当が支給されます。)

手続など詳しくは、役場総務課 (☎25-1111 内線 225) 又は、白河募集事務所 (☎24-0372) へお尋ねください。

今月の納税

固定資産税 2期

国民健康保険税 1期

村営住宅入居者募集

村では下記の住宅の入居者を募集しております。

記

住宅名 下羽太団地3戸
構造 簡易耐火構造平家建
種 別 第1種
部屋数 3部屋
家 賃 月額 11,000円

敷金は家賃の2カ月分で、共同の維持管理に要する費用は入居者で負担していただきます。

*申込用紙は役場建設課 (☎25-1111内線353) にあります。

尚、随時受付をしておりますので詳しいことは同課へお問い合わせ下さい。

編 集 後 記

毎月発行している「広報にしごう」も今回で199号を数え、200号まであと一歩と迫りました。

担当者はじめ、暑さにめげず頑張っていますので、みなさんの絶大なるご支援をよろしくお願いします。

財政のお知らせ

昭和62年度当初予算

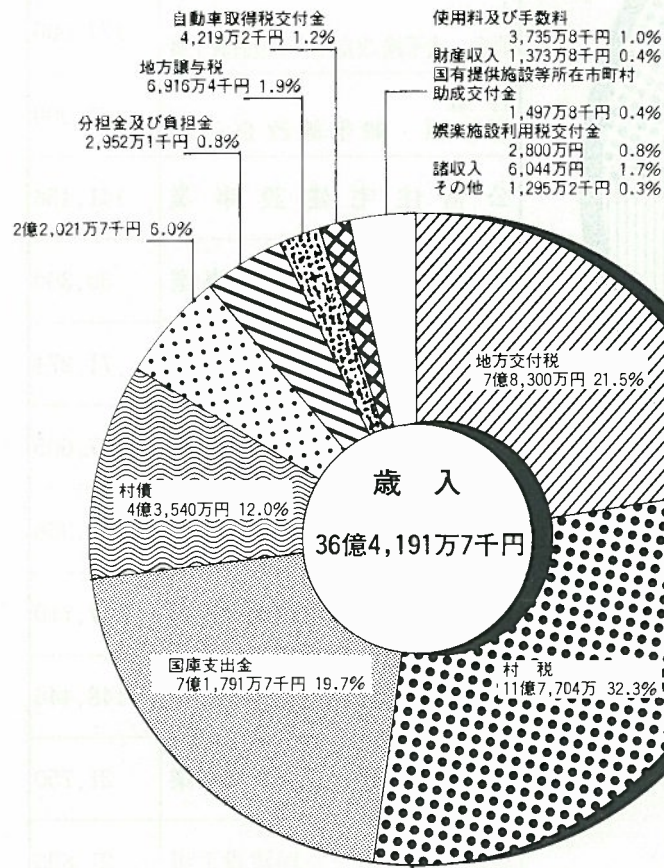
一般会計	36億4,191万7千円	(対前年度伸率 10.34%)
国民健康保険特別会計	8億 194万6千円	(対前年度伸率 17.1%)
老人保健特別会計	5億5,628万9千円	(対前年度伸率 4.6%)
土地造成事業特別会計	7億9,224万4千円	(対前年度伸率 1.1%)
有線放送電話事業特別会計	3,430万4千円	(対前年度伸率 1.9%)
水道事業会計	4億9,204万8千円	(対前年度伸率 5.4%)
大平工業用水道事業会計	5,883万8千円	(対前年度伸率△14.2%)
梶山工業用水道事業会計	1億1,981万4千円	(対前年度伸率△40.5%)

西郷村告示54号

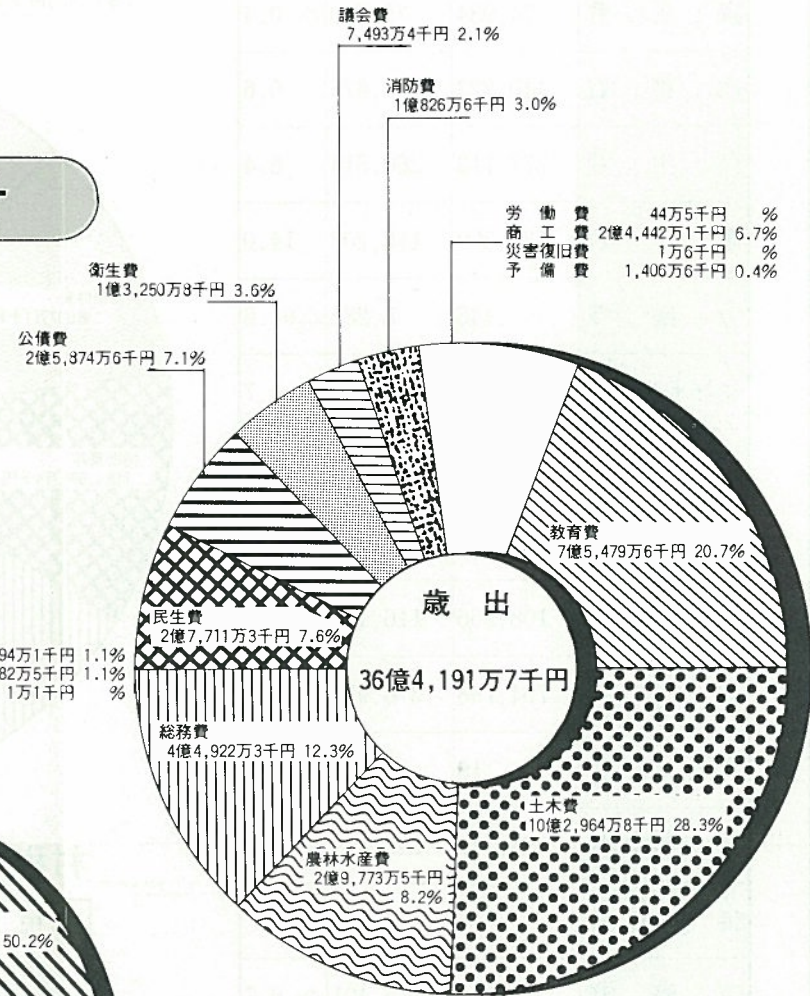
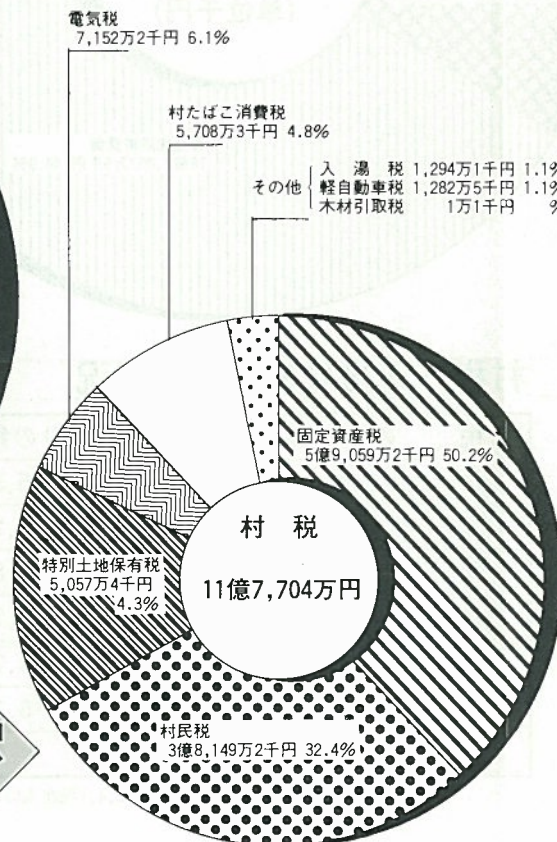
西郷村財政状況の作成及び公表に関する条例(昭和37年西郷村条例第3号)の規定に基づき、昭和62年度の当初予算を次のとおり公表する。

昭和62年 5月 西郷村長 鈴木 平作

一般会計



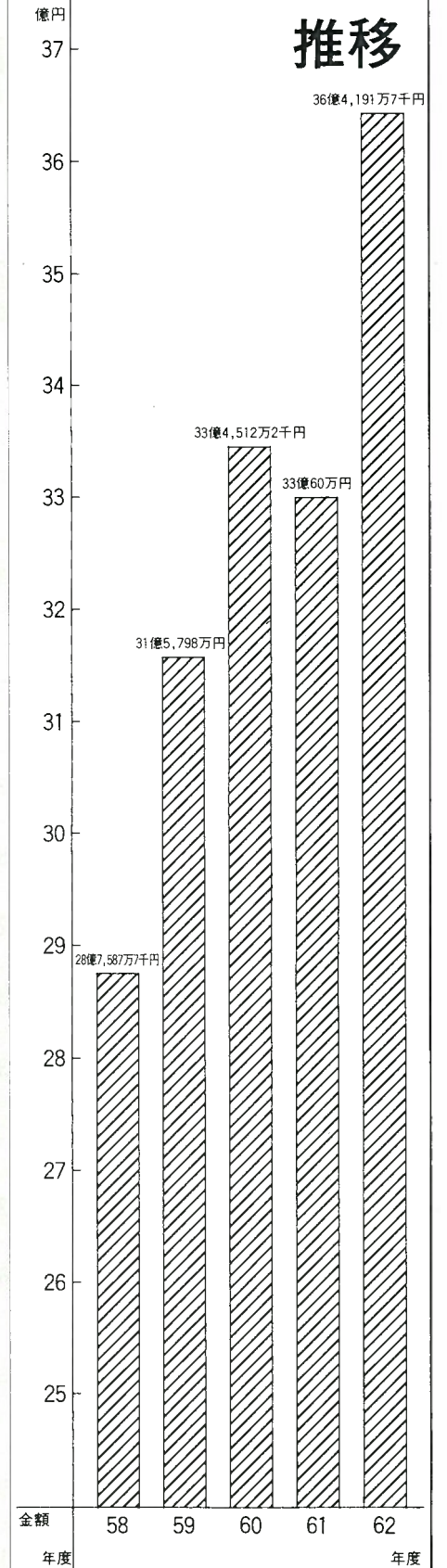
村税の内訳



給与の公表(62.4.1現在)

ラスパイレス指数(国と比較した給料水準)	昭和61年度	100.4%
職員給料(普通会計)平均		213,600円
平均年令		37歳
初任給	大学卒	115,900円
	短大卒	104,100円
	高卒	97,800円

当初予算の推移



昭和62年度当初予算対前年比較〔一般会計〕

(歳入)

(単位：千円)

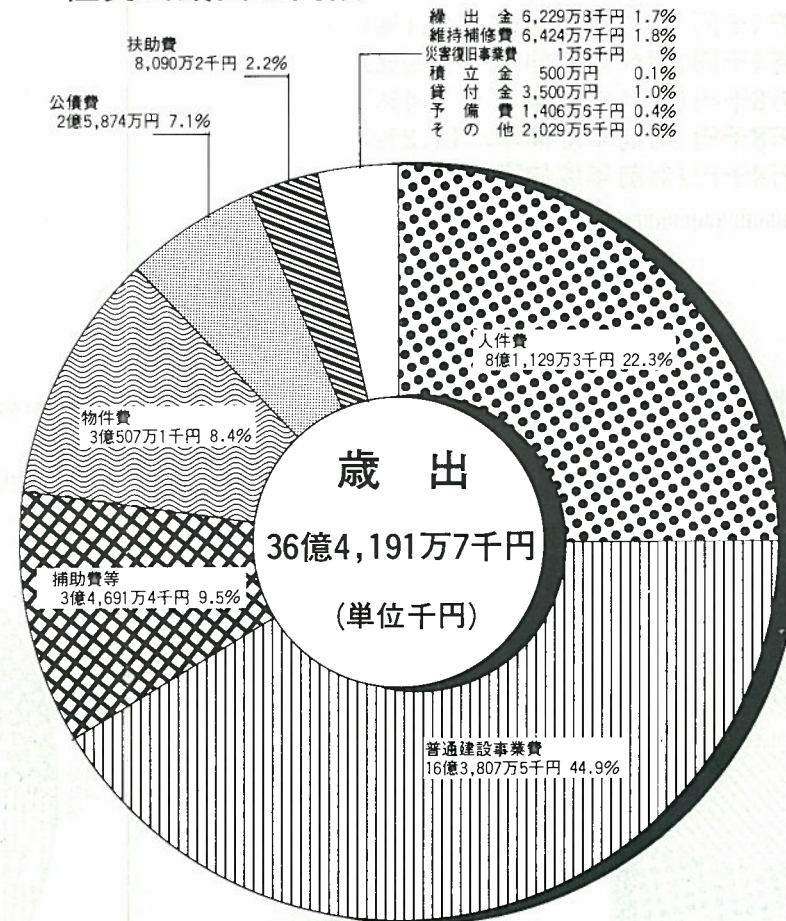
款	本年度 予算額	前年度 予算額	前年比 増減率
村 税	1,177,040	1,156,974	1.7%
地方譲与税	69,164	70,615	△ 2.1
娯楽施設利用 税 交付金	28,000	28,000	—
自動車取得 税 交付金	42,192	35,000	20.5
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	14,978	14,978	—
地方交付税	783,000	735,000	6.5
交通安全対策 特別交付金	1,876	2,445	△ 23.3
分担金及び 負担金	29,521	225,951	△ 86.9
使用料及 び手数料	37,358	30,695	21.7
国庫支出金	717,917	528,414	35.9
県支出金	220,217	168,160	31.0
財産収入	13,738	12,545	9.5
寄附金	1,064	1,390	△ 23.5
繰入金	12	32	△ 62.5
繰越金	10,000	10,000	—
諸収入	60,440	56,901	6.2
村 債	435,400	223,500	94.8
歳入合計	3,641,917	3,300,600	10.3

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	前年比 増減率
議 会 費	74,934	75,270	△ 0.4%
総 務 費	449,223	446,676	0.6
民 生 費	277,113	260,514	6.4
衛 生 費	132,508	116,203	14.0
労 働 費	445	8,282	△ 94.6
農林水産業費	297,735	284,376	4.7
商 工 費	244,421	195,314	25.1
土 木 費	1,029,648	1,147,134	△ 10.2
消 防 費	108,266	116,441	△ 7.0
教 育 費	754,796	378,950	99.2
災害復旧費	16	7,830	△ 99.8
公 債 費	258,746	248,209	4.2
諸 支 出 金			
予 備 費	14,066	15,401	△ 8.7
歳出合計	3,641,917	3,300,600	10.3

性質別歳出の内訳



村税一人当りの負担の状況

税 の 種 類	一人当りの負担額
村 民 税	25,370円
固 定 資 産 税	39,275
軽 自 動 車 税	852
村 た ば こ 消 費 税	3,796
電 気 税	4,756
特 別 土 地 保 有 税	3,363
入 湯 税	860

※62.4.1現在人口15,037人

一般会計予算に計上した主な事業 (単位：千円)

事 業 名	予 算 額
区 画 整 理 事 業	261,762
村 道 原中、四ツ門線歩道設置工事	34,934
村 道 501. 号 線 改 良 工 事	33,807
村 道 原中、大平線改良及び歩道設置工事	177,000
村 道 折口原・鶴生線改良工事	30,000
公 営 住 宅 建 設 事 業	141,456
農 村 基 盤 総 合 整 備 事 業	30,300
農 道 改 良 工 事	71,274
川 谷 小 学 校 改 築 工 事	257,605
幼 稚 園 建 設 工 事	44,306
屋 外 運 動 場 照 明 施 設 設 置 工 事	67,710
家 族 旅 行 村 整 備 工 事	148,446
ほ 場 整 備 (県 営) 事 業	21,750
屋 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場 建 設 工 事	21,896
下 水 道 実 施 設 計 委 託 事 業	13,400